

第28期 事業報告

1. 営業の概況

(1) 営業の経過及び成果

当社が設置した富山西インターチェンジは、供用開始から20年が経過し、周辺地域からの高速道路へのアクセス、物流の効率化、文化・観光の振興、広域医療の推進など地域の発展に大きく寄与しているところであります。

こうした中、インターチェンジ周辺開発事業である金屋企業団地及び第1期呉羽南部企業団地については、当期において、事業用定期借地で入居する企業各々1社が区画を購入され、分譲率はそれぞれ67.8%、65.9%となりました。

また、第2期呉羽南部企業団地については、4区画（面積35,989㎡）の分譲があり、分譲率は69.1%と前期末の50.0%から大きく上昇しました。

これら企業団地の分譲の進捗により、当社がインターチェンジ建設時に負担した資金に係る返済が本年1月20日をもって完了したことから、2月28日に開催した取締役会において、「当社設立の目的は果たされ、役割を終えた。」として、本年3月末をもって会社を解散する旨の決議がなされ、3月29日に開催した臨時株主総会において承認されました。

4月以降は清算会社として、本年6月末の完了を目途に清算手続きを進めてまいりたいと考えております。

(2) インターチェンジ建設負担金預り金の状況

	第26期まで	第27期	第28期	計
一括分譲	939,958千円	339,442千円	153,433千円	1,432,833千円
割賦分譲	17,496千円	0千円	0千円	17,496千円
借地	734,994千円	0千円	0千円	734,994千円
計	1,692,448千円	339,442千円	153,433千円	2,185,323千円